

11月23日、ついに私の大きな夢への第一歩を踏み出しました！将来パイロットになりたいという夢を叶えるため、関宿滑空場であったグライダーの体験搭乗に応募をしました。

滑空場に並んでいるグライダーを見た瞬間、まずその形にびっくりしました。エンジンがなくて、大きな翼だけで空を飛ぶなんて、本当にすごい！風の力だけで飛ぶように、すごくシンプルだけど、それが一番すごいデザインなんだなって思いました。

いよいよグライダーに乗り込んで、飛行機に引っ張られながら空へ上がっています。そして、ワイヤーが外れた瞬間…。想像していたよりもずっと静かで、思わず息をのみました。「シュー」という風を切る音は聞こえますが、うるさいエンジンの音は全くありません。ただ静かに、穏やかに空の上を滑っていくんです。窓の下には大地が広がっていて、地上でいつも聞いている車の音や人々のざわめきから遠く離れて、世界が止まったみたいに静かでした。

あの静かな空間でフワッと浮いている感覚は、本当に感動的なものでした。「空を飛ぶって、こんなに気持ちいいんだ！」と、心から喜びを感じた瞬間です。この時の静けさと浮遊感は、今でも鮮明に覚えています。

今回の体験で学んだことはたくさんありますが、一番は「自分で動いてみることの大切さ」です。ただ夢を「見ている」だけじゃダメで、情報を探して、応募して、自分で行動を起こしたからこそ、この最高の体験ができたんだと思います。

そして、場長の伊藤さんが言ってくれた「今、君がしている一つ一つの行動が、パイロットになることにつながっているんだよ」という言葉が、私の胸に深く響きました。パイロットの夢は、テストでいい点を取る、体力をつける、そして何より「やってみよう！」と自分からチャレンジすることの、日々の積み重ねなんだって改めてわかったからです。パイロットになるのは、すごく大変な道だとわかっています。でも、今回のグライダ一体験と、そこでいただいた言葉は、私の決意を強く固めってくれました。たくさんの貴重な経験と学びを、本当にありがとうございました！この体験をバネにして、これから絶対にあきらめずに、日々の行動を大切にして頑張っていきます！